

# 市長コラム

## ～未来への架け橋～

Vol.10



暑かった夏もいつの間にか去り、すっかり秋の気配を感じる頃となりました。たわわに実った稲穂が頭(こうべ)を垂れ、津軽の風物詩である黄金色の絨毯(じゅうたん)が一面に広がる季節となり、豊かな出来秋を期待しているところです。

### ★感染拡大防止対策にご協力ありがとうございます

全国的に新型コロナウイルス感染症の急拡大が進み、本県においても、8月後半から「爆発的」という表現が使われるほど感染者が急増しています。感染力が強いL452R変異株(デルタ株)の感染拡大に伴い、県内各地でクラスターが発生しているほか、家庭内感染も急激に増えるなど、深刻さを増しています。

こうした状況を鑑み、9月1日から市の行事やイベントの自粛、公共施設等の利用制限など、市民の皆さんにはご不便をお掛けしておりますが、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、県が発表した当市の8月の新規感染者は「1～10人」と、県内10市では最も少ない状況でした。

8月は、帰省やお盆など、人の動きや集まりが増えるリスクが高い時期にも関わらず、最少限で抑えられたのは、事業者はじめ市民の皆さんの感染対策に対する意識の高さと行動の表れであると思っています。

私は、地域の感染拡大を防ぐために重要なことは「一人一人の意識と自覚ある行動」「物理的な感染防止対策」「ワクチン接種の推進」であると考えています。市では、この3要素を徹底するため、感染防止に向けた各種施策に全力で取り組んでいるところであり、その一環として、5月より「五所川原市新型コロナウイルス感染症対策設備導入支援補助金」を実施してきました。9月30日をもって申請受付を終了しますが、申請件数(9月13日現在)は450件(うち飲食関係199件)となっており、たくさんのご協力をいただきましたことに、改めて深く感謝申し上げます。



『新型コロナウイルス感染症対策設備の設置確認』の様子

### ★新型コロナウイルスワクチン接種をお願いします

市では「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置し、ワクチン接種を計画的に進めており、国からの供給量が限られている中、できる限り効果的かつ早急な対応に努めています。

現時点においては、市民の皆さんのご協力もあって、ワクチン接種は順調に推移しておりますが、コロナを収束させるためには、できる限り多くの方に接種していただくことが必要であると思っています。

ワクチン接種をしないことは自身の感染リスクが高まるだけでなく、第三者に感染させてしまうリスクとなり、地域社会にとって大きなリスクとなります。

さまざまな事情があって接種をためらう方もおられると思いますし、決して強制するわけではありませんが、可能な限り家族や友人、ひいては地域全体を守るため、危機的状況にある今こそ、改めて一人一人が感染しない、感染させないという強い意識をもって、ワクチン接種にご協力いただくようお願いいたします。

### ★手続きやお問い合わせがしやすくなります

長引くコロナ禍で、生活の変化に伴い、さまざまな不安や困りごとを抱える一方で、外出の自粛などにより、市役所になかなか出向くことができない場合もあるかと思っています。

こうした状況を踏まえ、現在、市では、各種行政手続きをオンラインで行えるようにしています(今月号9ページ掲載)。また、今後、コミュニケーションアプリ「LINE」を活用した各種問い合わせへの24時間自動応答なども実施予定であり、市民サービスの向上のため、行政のデジタル化を推進し、市民の皆さんのご負担やご不便を少しでも軽減できればと思っています。

一方で、パソコンやスマートフォンを利用できなくても、お電話や窓口で気軽にお問い合わせいただけるよう、職員一同、これまで以上に丁寧な対応を心掛けてまいりますので、ご遠慮なくご相談ください。



『新型コロナウイルスワクチン集団接種会場』の様子